祝　　辞

文部科学大臣　松 本 洋 平 様
（代読　文部科学省研究振興局長　淵 上　孝 様）

本日ここに、公益財団法人東レ科学振興会の令和 7 年度贈呈式が挙行されるに当たり、一言御挨拶申し上げます。

このたび、東レ科学技術賞、東レ科学技術研究助成並びに東レ理科教育賞を受けられた皆様、誠におめでとうございます。皆様の深い探究心と強い意欲から生まれた独創的・先駆的な研究や、創意と工夫による教育方法が、厳正な審査の結果、極めて高い評価を得て選ばれたと伺っております。

今回の受賞を契機として、今後も皆様の研究や教育の取組が一層進展し、我が国の学術の振興及び科学技術の発展、あるいは理科教育の振興に大きく貢献されることを期待申し上げます。

東レ科学振興会におかれましては、昭和 35 年に設立されて以来、優れた業績を上げられた研究者や、著しい教育効果を上げられた先生方を顕彰するとともに、今後の研究の進展が期待される若手研究者を対象に、積極的な助成を行ってこられました。こうした継続的な取組は、高い志をもって自らの課題に挑戦する研究者を支え、また未来を担う子供たちを育てる教員の励みとなるとともに、我が国の研究や教育水準の向上に大きく寄与するものです。長年にわたる関係の皆様の御尽力に深く敬意を表します。

社会構造や国際情勢など、様々な変化の中にある我が国ですが、その未来を切り拓くのは、いつの時代も「人」と「知」の力です。「人」を育み、「人」の英知や創造力を引き出すことこそ、強い日本・豊かな未来の礎を築く根幹として極めて重要であると考えています。

文部科学省といたしましても、科研費などの競争的研究費と基盤的経費の充実をはじめ、新たな研究領域の継続的な創造、科学技術人材の育成・活躍促進、ＡＩの利活用による科学研究の革新等を総合的に進め、我が国の「科学の再興」に力を尽くしてまいります。さらに、理科教育の充実や探究的・文理横断的・実践的な学びを推進してまいります。

結びに、本日御出席の皆様のますますの御健勝と御活躍、並びに東レ科学振興会の更なる御発展を心から祈念し、私のお祝いの言葉といたします。